# 圧縮空気の低露点計測~よくある間違い~

#### ヴァイサラ株式会社

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング16階

TEL: 03-5259-5960 / FAX: 03-5259-5961

Email: sales.japan@vaisala.com

URL: www.vaisala.com/ja



※ 本資料の無断での引用、複写、配布、転載を禁じます。

#### (A)圧力下露点と(B)大気圧下露点について

- 露点温度は、圧力の影響を受けます。
- 同じ圧縮空気の露点温度を計測するにも
  - (A) 圧力下露点:圧力がかかった状態で計測する
  - (B) 大気圧下露点: 大気に開放した状態で計測するによって露点温度の値が大きく異なってきます。

```
たとえば、配管内の圧力が0.6MPagのとき
(A) 圧力下露点
(B) 大気圧下露点
-40°CTd/f → -56.9°CTd/f
-50°CTd/f → -65.3°CTd/f
-60°CTd/f → -73.8°CTd/f
```

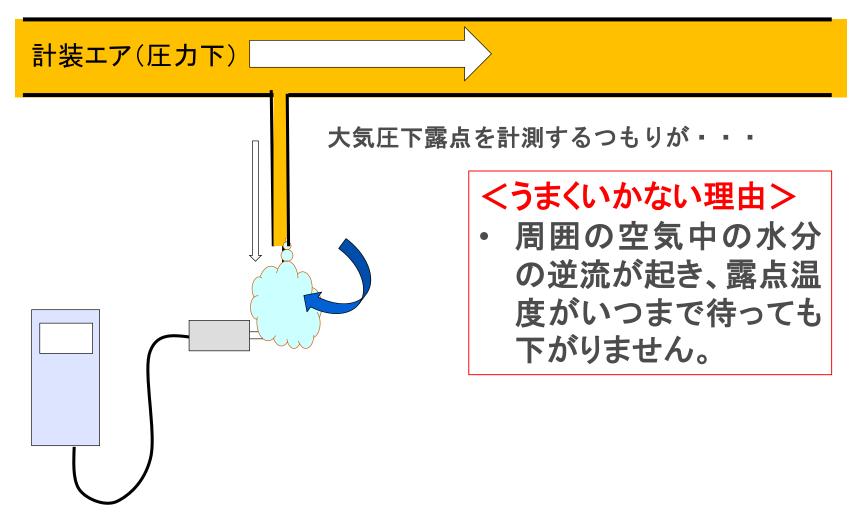
どちらを計測しているかよく理解することが重要です。

こんなに

違います!

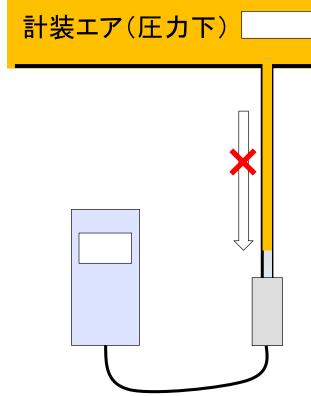
# くよくある間違い> 圧縮空気の吹出口付近で計測する





# くよくある間違い> 空気の流れがない場所で計測する





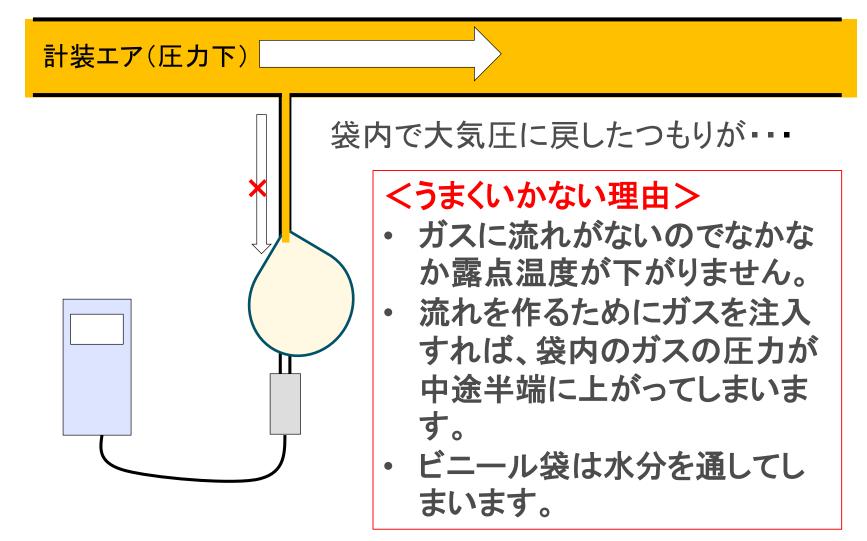
圧力下露点を計測するつもりが・・・

#### くうまくいかない理由>

- 空気の流れがないと、乾燥空気がセンサに到達しないため、 露点温度がいつまで待っても 下がりません。
- もとから配管の中のある水分がいつまでも抜けません。

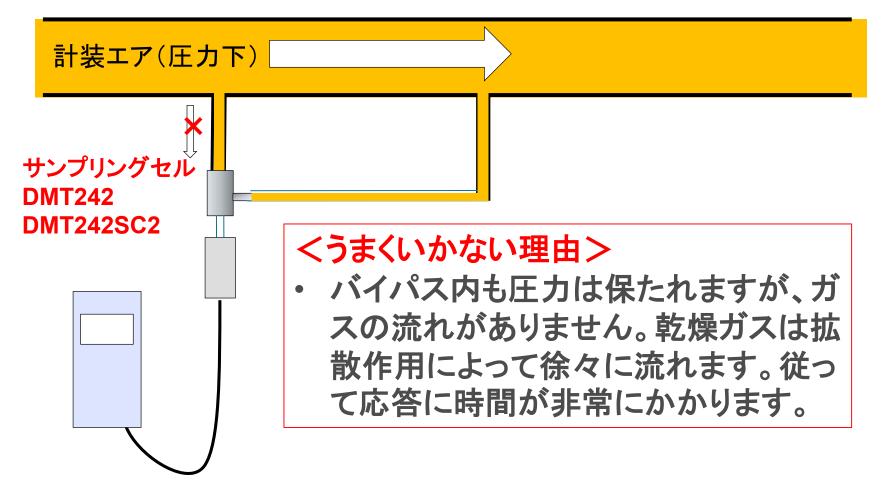
# くよくある間違い> ガスを一旦袋に詰めて計測する





# くよくある間違い> バイパスを作り計測後ガスを配管に戻す





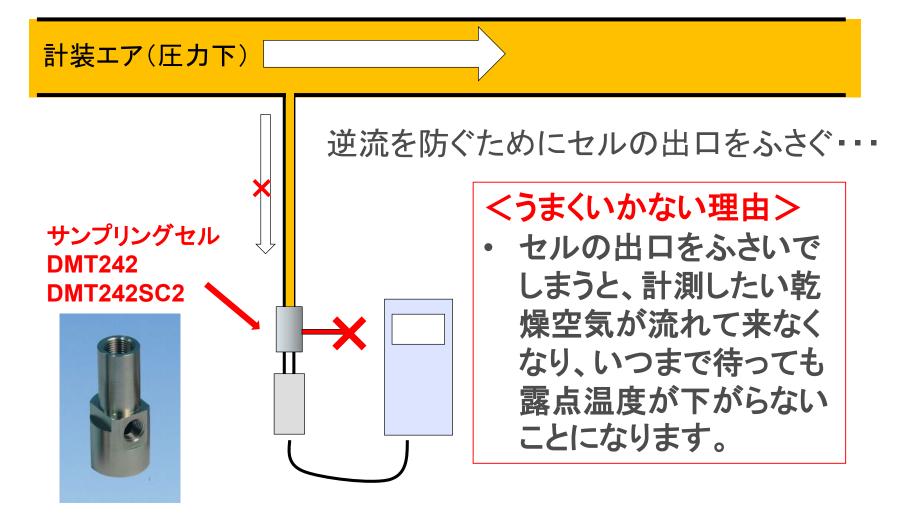
# くよくある間違い> サンプリングセルの出口を開放する



計装エア(圧力下) セルの出口をそのまま開放してしまう・・・ くうまくいかない理由> サンプリングセル 出口を開放すると、 **DMT242** DMT242SC2 周囲の水分の逆流 がおき、露点温度が 下がりません。

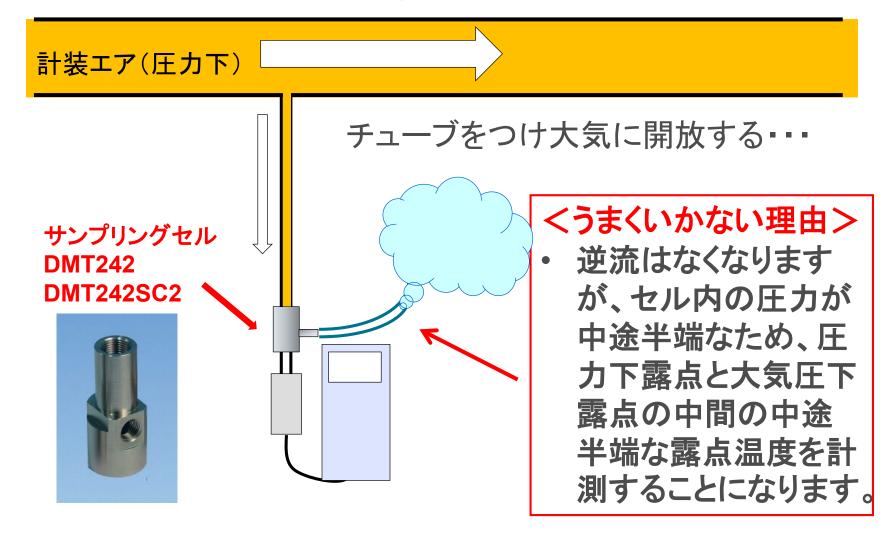
# くよくある間違い> サンプリングセルの出口をふさぐ





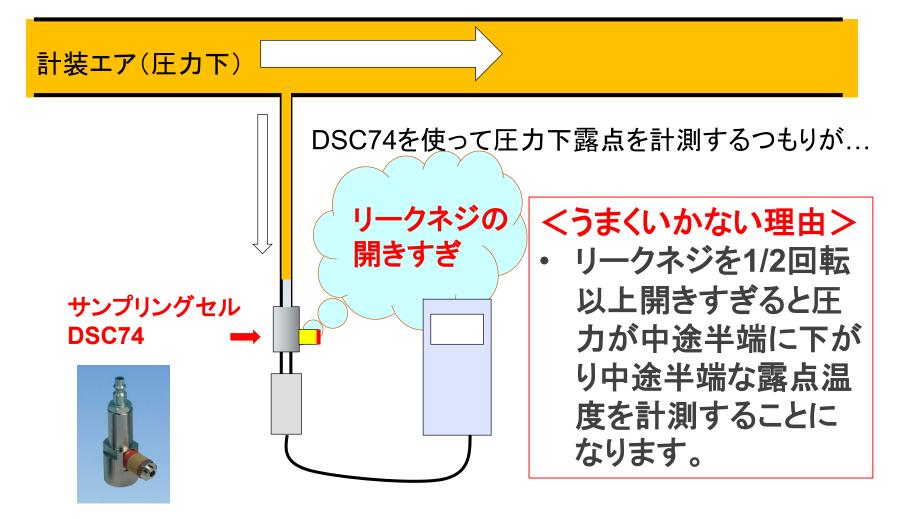
# くよくある間違い> チューブをつけて大気に開放する





# くよくある間違い> DSC74リークネジの開きすぎ





# DM70 ハンディタイプ露点計 DPT146 露点圧力変換器

大気圧下露点の演算機能

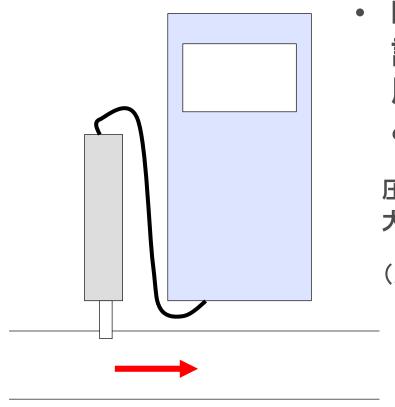
#### (A)圧力下露点と(B)大気圧下露点について

ヴァイサラでは、圧力下露点を計測し、 演算で大気圧下露点を知る方法をお勧めしています。

#### なぜなら

- 1. 大気圧下露点を計測しようと試みても、圧力のかかった ガスを正しく大気圧に戻すのは意外と難しいものです。 中途半端な圧力で計測しているケースが多く見受けられ ます。また、周囲の空気が逆流して正確な露点計測を妨 げる恐れがあります。
- 2. 露点温度は高いほど精度よく計測できます。ですから高い圧力下露点を計測した方が、露点計にとって有利です。

#### DM70 ハンディタイプ露点計



 DM70では、圧力を入力すると、 計測した圧力下露点から、大気 圧下露点を演算して出力することができます。

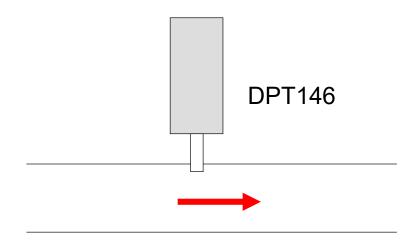
圧力下露点 ⇒ 大気圧下露点 ⇒ T<sub>d/f</sub> -40°C T<sub>d/f</sub> -56.9°C<sub>atm</sub>

(圧力を7baraと設定したとき)

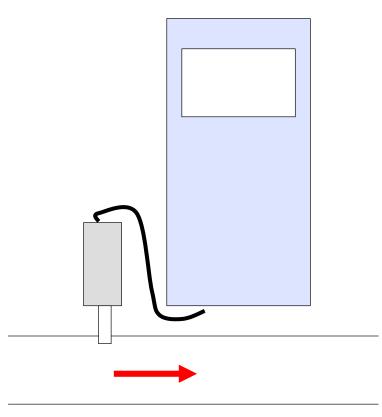
#### DPT146 露点圧力変換器

- DPT146には、圧力センサが 内蔵されています。
- 圧力センサで読んだ圧力値を 使って、自動的に「大気圧下 露点」を演算して出力すること ができます。
- ・特に圧縮空気の圧力がよく変 化する現場でのご使用に便利 です。

アナログ信号(2ch)で 「圧力下露点」と 「大気圧下露点」を 同時出力も可能



#### DPT146 + MI70指示計



- ・ DPT146はMI70指示計と繋 いでハンディタイプ露点計と して使うこともできます。
- ・ DPT146の露点センサは圧力下露点を計測します。内蔵の圧力センサで計測した圧力を使い、大気圧下露点を演算して表示することができます。

圧力下露点 ⇒ 大気圧下露点 ⇒ 計測した圧力 ⇒

T<sub>d/f</sub> -40°C T<sub>d/f</sub> -56.9°C<sub>atm</sub> P 7.0 bara